

EPS は「量子アプリ共創コンソーシアム」に参画、 健康長寿社会に貢献

イーピーエス株式会社(以下:EPS)は、2017年9月28日付で国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)^{1*}」における2017年度の新規研究領域・共創コンソーシアムに採択された「量子アプリ共創コンソーシアム(英語名称:Quantum Innovation for Safe and Smart Society、以下 QiSS)^{2*}」に参画することになりました。

QiSS は、量子^{3*}を高度にコントロールする新しい技術を産学共同で研究し、超スマート社会の安全を支える基盤技術の開発や、QOL の高い健康長寿社会を実現する量子を用いた新規医療応用技術の開発を目指すプロジェクトです。EPS は、大阪大学および国立医薬品食品衛生研究所と共に「放射性薬剤の取扱安全基準の構築」を目的とした研究開発課題(核医学治療の臨床応用を踏まえた非臨床試験における有効性・安全性の評価法の確立)に取り組みます。

核医学治療(主ががんの治療に用いられる)に関する取扱安全基準は、日本のみならず欧米でも未確立であり、さらに短寿命放射性核種への適切な評価法の確立を目指すこのプロジェクトの新規性・優位性は極めて高いものです。

EPS はこの研究開発課題において、核医学治療薬剤の製造販売承認取得を見据えた GLP 省令^{4*}や GCP 省令^{5*}等に関する課題解決及びガイドライン等の研究開発基盤の整備を支援します。また、この共同開発研究への参画を通じて、基礎研究の段階からの医薬品開発に関する知見を備えた人材を育成し、今後の創薬開発の支援に役立たせることを目指します。

詳しくは、www.eps.co.jp/ja/other/news/2018/20180312.pdf をご覧ください。

¹ 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA):国立研究開発法人科学技術振興機構の産学連携による共同研究を推進するための支援プログラム <http://www.jst.go.jp/pr/info/info1280/index.html>

² プロジェクトの詳細は、<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~qiss/> をご覧ください

³ 量子:物理量の最小単位。本コンソーシアムでは放射性核種・中性子・ミューオンなどが対象

⁴ GLP 省令(Good Laboratory Practice) 医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準に関する省令

⁵ GCP 省令(Good Clinical Practice) 医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令

益新集團 広報渉外チーム

2018年3月26日